

就職試験が始まりました

本校では卒業生の約半分が就職します。9月16日から就職試験が始まりました。就職希望の生徒は夏休みに企業訪問をして、自分が就職したい会社かどうかよく考え、志願する企業を決めます。就職試験では必ず面接があるので、何回も面接練習して臨みます。就職希望者の内訳は下伊那郡内の企業に100名、長野県内に15名、県外に26名希望しています。他に公務員希望の生徒も10名います。職種では工業科は製造業や建設業などが多く、商業科はサービス業が多い傾向はありますが、学科の内容とは異なる職種を目指す生徒もいます。



面接練習でも本番と同じくらい緊張しています。



各教科から、3年生で学ぶ学習内容の説明がされます。これを聞いて講座を選択します

2年生は講座選択です

3年生ではおよそ1/3の授業を自分の進路にあわせて選択します。来年度の講座選択のための説明会が2年生対象に行われました。進学希望者は進学に必要な科目を、就職希望者は就職先の職種や自身の技能を高めるために必要な科目を選択します。総合技術高校である本校では、総合技術(6月号参照)など、他学科の授業も選択でき、進路にあわせ幅広い選択ができます。

1年生は進学補習

1年生も高校卒業後の進路実現に向けて、進学補習を行っています。本校では卒業生の約半分が進学するため、進学にも力を入れています。専門教育を生かした推薦入試等を利用して受験する生徒が多くいますが、普通科の基礎学力も必要です。そのため希望者に数学や英語などの補習を1年生のうちから始め進学に対応しています。



オープンキャンパス開催中

まだ、申し込みが間に合う学科もあります。学科で学ぶ実習や実践を体験できます。より、深く学習内容を知りたい人はもちろん、進路に迷っている人、まだ決まっていない人もぜひ参加してみてください。

学 科	実 施 日	申 込 締 切
社会基盤工学科	10月 1日(日)	申し込み終了
電子機械工学科	10月 7日(土)	申し込み終了
商業科	10月14日(土)	9月29日(金)
建築学科	10月15日(日)	9月29日(金)
機械工学科	10月28日(土)	10月13日(金)
電気電子工学科	11月11日(土)	10月27日(金)

学校外での活躍

バス停の改修を行いました

信南交通、南信州広域連合より伊賀良の農協前バス停の改修の依頼が学校にあり、辻テント、エースリフォームの方の指導の下、社会基盤工学科生徒5名が課題研究の一環としてバス停改修を行いました。主にバス停の骨組みやベンチの塗装をしました。また、バス停のオブジェのデザインもしました。夏休みを利用しての作業なので、暑い中、さびを落としたり、ペンキを塗ったりと大変でしたが、とてもきれいになり、地域の方にも感謝され、新聞社などに取材もされました。



人形劇フェスタメイン会場のアーチを作りました

飯田市の人形劇フェスタのメイン会場である中央公園にアーチを製作しました。アーチの骨組みの製作は建築学科の生徒が、アーチの装飾は商業科生徒が担当して完成させました。



建築学科の授業より

ワークショップで学習 1,2年生

建築士会の方に来校いただきワークショップ形式の授業をおこないました。地元の良いところを取り入れて地元にあった建物を設計する信州 ECO コンテストに出品するための準備です。ワークショップではアイデア出すためのヒントや手法を指導していただきました。このワークショップの経験を活かして、今年のテーマである「おもてなしの住宅」を設計してコンテストに挑みます。



先輩の指導を受ける 2年生

本校卒業生からノコギリやノミの使い方を指導していただきました。指導していただいたのは2年前に本校建築学科を卒業し、工務店に大工として勤めている先輩です。年齢の近い先輩のみごとな技を見せていただき、加工技術の指導もしていただきました。



ノミの使い方の指導